

令和8年度 「紙リサイクルセミナー」 テキスト



日 時 : 令和8年10月16日(金) 13:30 ~ 16:15
会 場 : 星陵会館

公益財団法人古紙再生促進センター

プ ロ グ ラ ム

13:30	開会		
13:32～13:37	開会挨拶	公益財団法人古紙再生促進センター 代表理事	長谷川 一 郎
13:40～14:20	「経済学から考える紙リサイクル:人は何に反応し、行動するのか」	学校法人近畿大学 経済学部経済学科 准教授	石 村 雄 一 氏 ……p. 1
14:20～15:00	「名古屋市のゴミ減量資源化とリサイクルの取組み」	株式会社石川マテリアル 代表取締役社長	石 川 喜一朗 氏 ……p. 8
15:00～15:15	休 憩		
15:15～15:30	センターからのお知らせ		……p. 25
15:30～16:10	「佐賀における地域循環共生社会づくり ー紙リサイクルを入口とした地域共創への挑戦ー」	株式会社イワフチ 代表取締役	岩 渕 慶 太 氏 ……p. 28
16:10～16:15	閉会挨拶	公益財団法人古紙再生促進センター 副理事長	大久保 信 隆
16:15	閉会		

経済学から考える紙リサイクル 人は何に反応し、何に行動するのか



2026年10月16日

近畿大学 経済学部

石村 雄一

お問合せ先 :
ishimura@eco.kindai.ac.jp

講演内容

1. 紙リサイクルの課題
2. 経済学から見た課題
3. 経済研究の紹介
4. これからの紙リサイクル

1. 紙リサイクルの課題

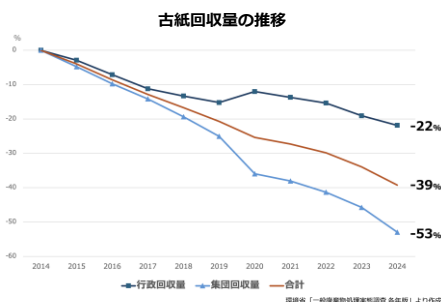
3

何が問題か？

古紙・雑がみの発生量自体が減少

- ・人口減少・過疎化
- ・集団回収の衰退
- ・デジタル化

人口減少に伴い、総量は今後も減少



集団回収の実施自治体数

2014年 994
2024年 924
うち、雑がみ 200

電子出版の市場規模

2015年 1,502 億円 (約9%)
2024年 5,660 億円 (約36%)

全国出版協会「出版実態年報 2025年版」より作成

分別されずに焼却されている雑がみ・古紙は多く存在

例：千代田区

可燃ごみに含まれる紙類	潜在的な分別可能量	回収実績 (行政回収+集団回収)
17.6%	2,404t/年	3,466t/年
		(令和6年度実績)

- ・ 今後は分別促進がより一層重要
- ・ 可燃ごみの減量化策としても重要

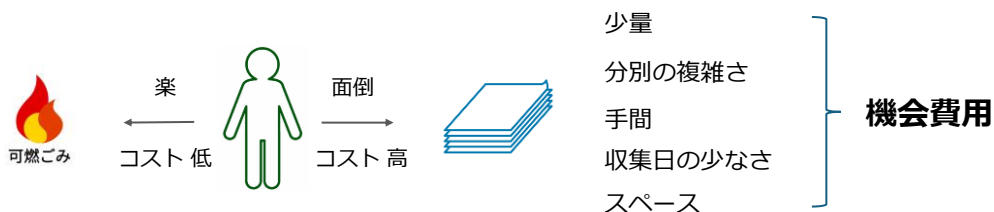
4

2. 経済学から見た課題

5

なぜ、雑がみを分別しないのか？

1. 住民にとって分別はコスト



2. 分別へのインセンティブが低い

- ・ 分別しても利益はほぼない
- ・ 可燃ごみに出してもペナルティはほぼない



分別に対するコストが利益を上回る



研究ではここに着目

- 1. 経済的インセンティブ
利益をコストより高くする
- 2. ナッジ
心理的にコストを下げる

6

7

8

研究事例：ナッジの導入例と効果（その1）

個人実績の可視化

人が「自らの行動の結果を認識すると、行動を変えやすい」性質を活用

導入例：ごみ排出量のフィードバック、他者との比較（Ek and Söderberg, 2024）

- ・スウェーデン西部の2自治体（Varberg, Partille）における約2万世帯
- ・廃棄記録、所属地域の情報、優秀世帯の情報
- ・8ヶ月間にわたり手紙送付

- ・ごみ削減率は7～12%
- ・主に分別増加に起因
- ・効果は介入終了1年後も持続

古紙・雑がみにも言えるかもしれない

自治体アプリやLINE等で袋数の実績を本人にフィードバック

- ・理想：収集袋に世帯ごとのQRコード等シールを付与し、収集時に読み取る
- ・現実：個人単位の把握が難しい場合は、自治会・収集区単位で実績を可視化

住民自らの分別行動の成果を確認する機会の創設が必要

9

研究事例：ナッジの導入例と効果（その2）

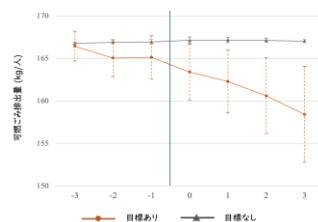
ゴール・グラデュエーション

人が「遠い目標よりも近い目標の方が努力しやすい」性質を活用

導入例：自治体による食品ロス削減目標

- ・SDGsなど世界的な目標ではなく、地域目標の設定によって住民の行動変容を促す
- ・導入自治体：232自治体（2023年時点）

効果：可燃ごみが約7.34%減少



The effects of regional goal setting on household waste
Yuichi Ishimura, Takayoshi Shinkuma, Kenji Takeuchi, Eiji Hosoda
Ecological Economics 215 108015 2024年

古紙・雑がみにも言えるかもしれない

- ・全体的な減量化・リサイクルの目標を掲げる自治体が多い
- ・古紙、雑がみの分別目標を掲げている自治体は少ない
- ・自治会、収集区単位での目標設定はほぼない

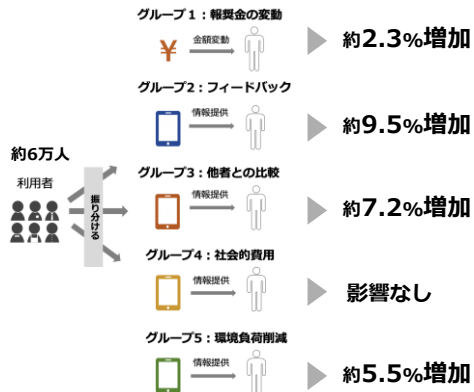
古紙・雑がみの資源化率に対する目標設定が必要

10

研究：経済的インセンティブか、ナッジか

古紙拠点回収の実証実験

- ・実験対象：仙台市みやぎ生協 34店舗
- ・報奨金：古紙1kg → **1円/kg～7円/kg**（毎日変動）
- ・ナッジ：**フィードバック、他者との比較、社会的費用、環境負荷削減**



(株式会社SKホールディングス)

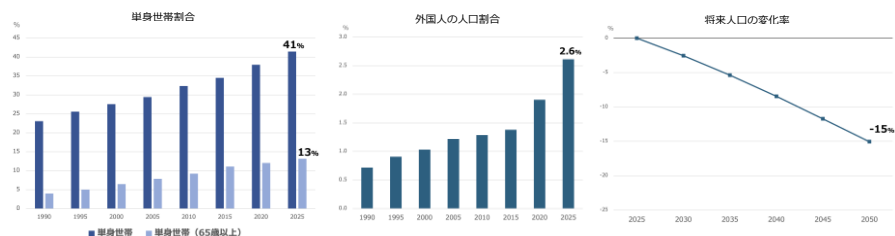
情報の示し方を工夫するナッジも有効になり得る

4. これからの紙リサイクル

今後の紙リサイクル

社会構造の変化

- ・単身世帯の増加
- ・外国人の増加
- ・人口減少
- ・更なるデジタル化



変化に合わせた分別・回収体制が必要

- ・雑がみの分別
 - ・古紙の行政回収
 - ・集団回収
- これまでの取組み・政策を続けていい？

住民の意識や努力だけに頼るには限界がある

住民に「もっと頑張ってもらおう」ことではなく、
分別の負担を減らし、行動するメリットをつくり、自然と行動につながる仕組みの設計が必要

紙リサイクルセミナー 2026.10.16

名古屋市のごみ減量資源化と リサイクルの取組み（事例報告）

愛知県古紙協同組合 理事長
株式会社石川マテリアル 代表取締役社長
石川喜一郎

▶ 愛知県古紙協同組合

愛知県で古紙を扱っている33業者の組合

主な事業：行政委託事業の実施

- ・名古屋市＝紙製容器包装とPETボトルの選別・梱包・保管等の業務
- ・弥富市、安城市、愛西市、尾張旭市、飛島村の古紙等の収集業務等

▶ 株式会社石川マテリアル

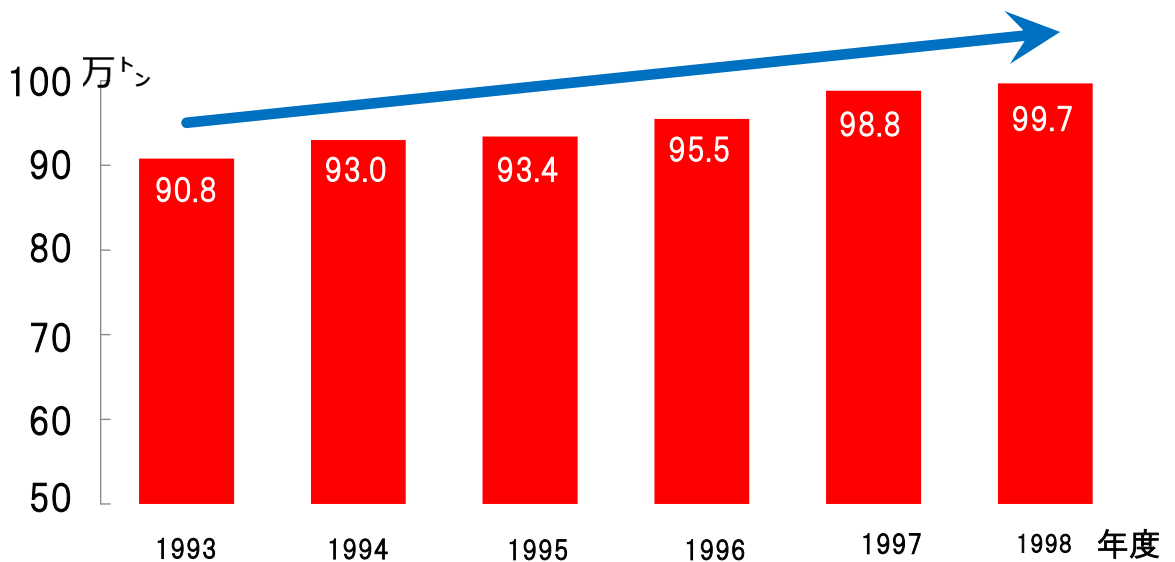
- ・ 古紙卸売業・金属スクラップ卸売業・産業廃棄物処分業・機密情報抹消事業
容器包装の選別・梱包・保管等の業務
- ・ 経営理念＝共存共栄
- ・ 経営方針＝次の世代により良い環境を「KeepGreen」をモットーに環境の
変化に適応できる人を育て社会に貢献する会社を創る

講演の内容

- ▶ 名古屋市がごみの減量資源化を始めた理由
- ▶ ごみ減量対策としてリサイクルの取組み
- ▶ 紙製容器包装と雑がみの課題
- ▶ 関係団体と連携した協働事業
- ▶ 最後に！

3

名古屋市の増え続けるごみ処理量



4

1998年度以前の「ごみ」の分別

燃えるゴミ

毎週 ・ 曜日(週2回)

可燃ごみ



〔台所ごみ〕



〔紙くず〕



〔草・小枝〕



〔紙おむつ〕

燃えないゴミ

毎週 曜日(週1回)

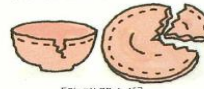
30cm角以下の燃えないごみ、燃やすのに適さないごみ



〔プラスチック製品〕
(卵パック、トレイ、PETボトルなど)



〔ゴム製品〕



〔陶磁器くず〕



〔ガラスくず〕



〔小型金属製品〕



〔筒型乾電池〕

愛岐処分場（岐阜県多治見市）



名古屋市における古紙回収の歩み

- ▶ 昭和30年代後半から子ども会などで集団資源（廃品）回収が始まる。
- ▶ 昭和40年代に集団資源回収が名古屋市全域に広がる。
- ▶ 昭和45年頃からチリ紙交換車が登場する。
- ▶ 平成10年（1998年）頃古紙価格が暴落してチリ紙交換や集団資源回収が衰退。
- ▶ 平成11年（1999年）名古屋市ごみ非常事態宣言。
- ▶ 平成11年容器包装のリサイクルを拡充。紙製容器包装は平成12年に実施。
- ▶ 平成12年（2000年）学区協議会方式の集団資源回収がスタート。

7

ごみ非常事態宣言 ごみ減量の基本は、2つ

1つは、ごみの原因を減らすこと。

もう1つは、分別してリサイクルを進めること。



8

1999年实施

分別パンフレット



9

[illegible]

10

1999年8月なごや古紙リサイクル協議会の発足

- ▶ 新聞社・新聞販売店
 - 告知チラシの作成・配布及び各種媒体を使った啓発
- ▶ 製紙メーカー
 - 古紙の全量引き取り及び古紙配合率の拡大
- ▶ 古紙業界
 - 分別基準の統一化及び効率的な回収、円滑な回収を行う
- ▶ 市民
 - 分別排出に協力及び再生品の使用促進
- ▶ 行政
 - 資源回収活動の支援及び市民への啓発、情報提供

11

中日新聞社の協力

環境情報紙



集団資源回収の告知チラシ



12

家庭内の古紙分別（ひもで縛って出す）



雑がみの種類 ↓



13

ごみ減量の方策として古紙回収サービスの推進



（集団資源各戸回収＝高齢社会に対応）



（常設ステーション＝利便性に対応）



14

容器包装リサイクル法

▶ 家庭から一般廃棄物として排出される容器包装

廃棄物のリサイクル制度を構築することにより、一般廃棄物の減量と資源の有効活用を図ることを目的としています。

消費者は「排出抑制」「分別排出」し、市町村は「分別収集」し、事業者は「再商品化（リサイクル）」の責務を負う（拡大生産者責任の導入）という各々の役割分担が明確化されています。

▶ 分別収集及び再商品化の対象となる容器包装

分別収集の対象となる容器包装は8種類。その内4種類は特定事業者が再商品化の義務を負います。ガラスびん・PETボトル・紙製容器包装・プラスチック製容器包装の4素材は、資源価値が低いため、市町村が分別収集してもお金を支払わないとリサイクルできない状態（これを逆有償といいます）でした。一方、紙パック・段ボール・アルミ缶・スチール缶の4素材は、資源価値が高いためお金を払わないでもリサイクルされる状態（これを有償といいます）であったため、再商品化義務の対象から除外されました。

15

分別にご協力いただく地域の方々 容器包装の分別回収



16

紙製容器包装のリサイクル（搬入）



17

紙製容器包装のリサイクル（処理）



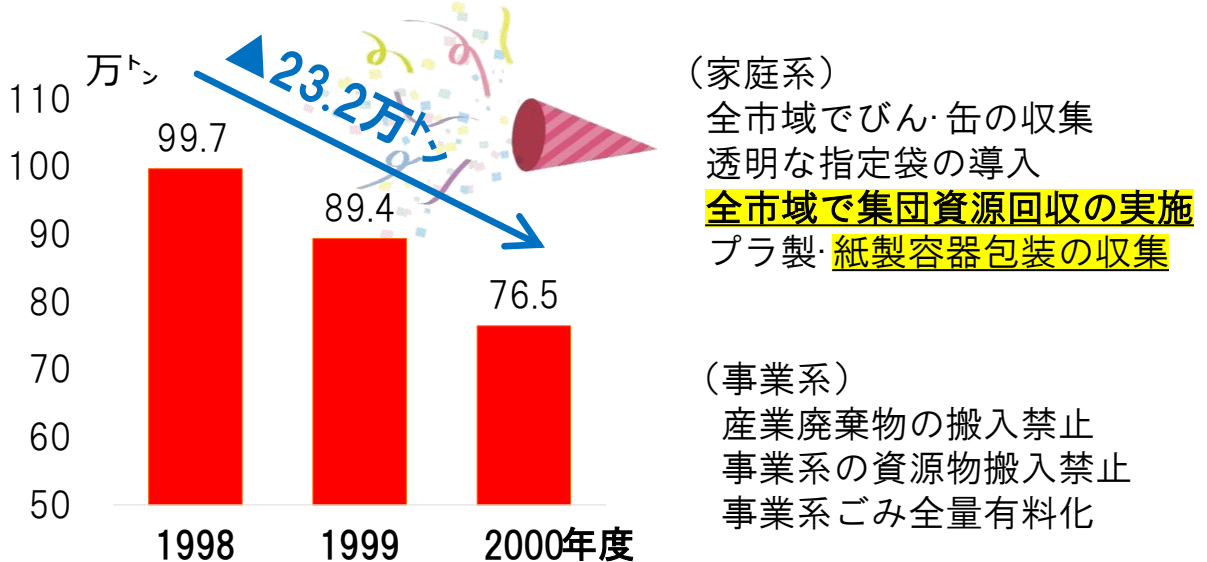
18

紙製容器包装の選別・梱包加工・保管業務



19

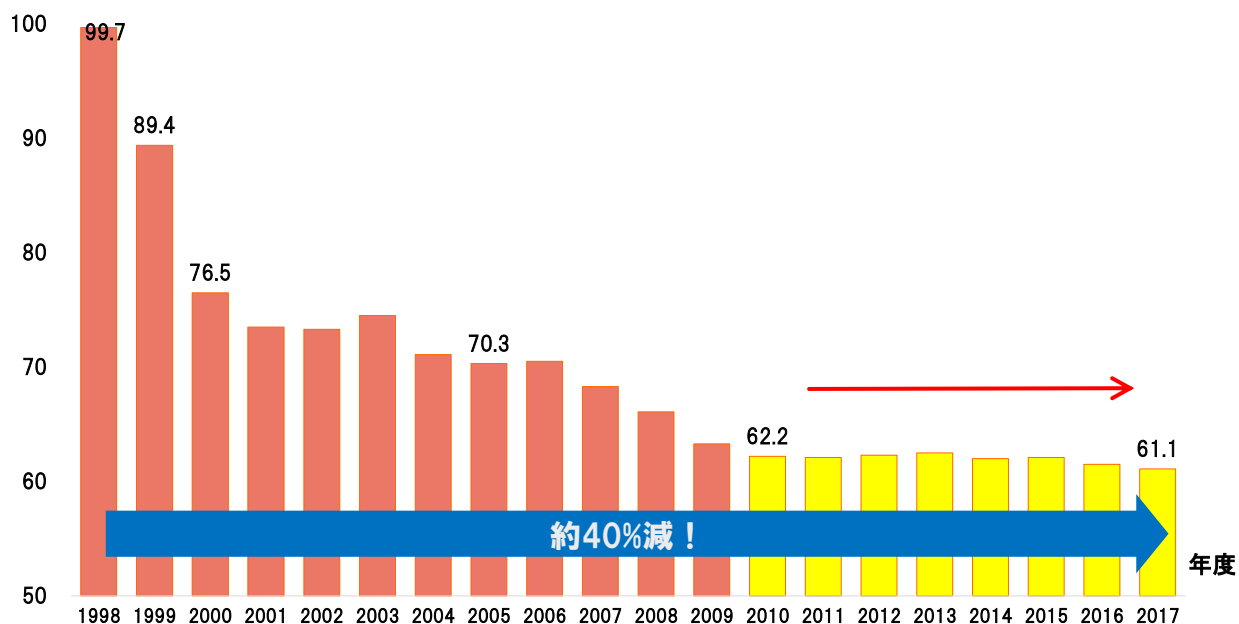
ごみ非常事態宣言後のごみ処理量の推移



20

ごみ非常事態宣言後のごみ処理量の推移

万トン



紙製容器包装と雑がみ一括収集へ実証実験

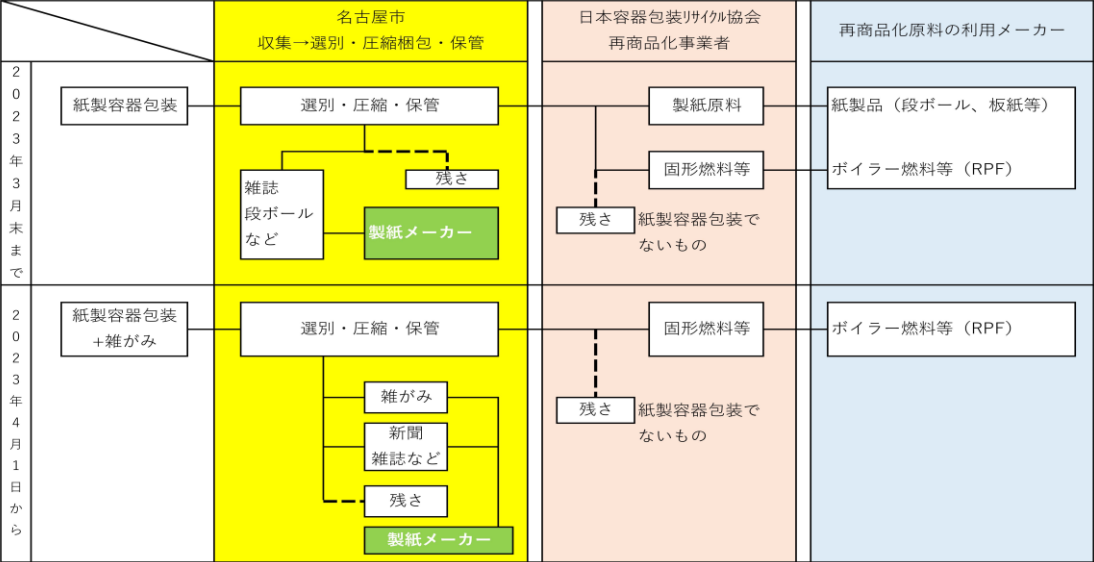
2 紙資源の分別区分のパターン

南区 道德学区	雑がみ	紙製容器包装	製紙原料とならないもの ・防水加工されたもの ・汚れているもの ・匂いがついたもの
守山区 守山学区	雑がみ	紙製容器包装	製紙原料とならないもの ・防水加工されたもの ・汚れているもの ・匂いがついたもの

---> 可燃ごみとして排出

22

紙製容器包装と雑がみ一括収集へ（CO₂削減）



23

4月からの「紙製容器包装」と「雑がみ」の分け方

1 製紙原料にならない
紙製容器包装
カップ麺・ヨーグルト・アイスの容器など



2 製紙原料になる
紙製容器包装
菓子箱などの空き箱、割り箸の袋、紙袋など



3 製紙原料になる
雑がみ
メモ用紙、値札、ラップやトイレットペーパーの芯など



1 2 3 過1回の名古屋市の資源収集に出せます

3月末までは①②を紙製容器包装として資源袋に。4月からは③も出せるようになります。①②③を資源袋と一緒に入れられます。

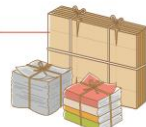


2 3 集団資源回収、各拠点回収に出せます

集団資源回収や各拠点回収には従来も4月以降も①は出せません。②③は雑誌などにはさむか、小さいものは紙袋に入れ口を開けて出します。



新聞・雑誌・段ボール・紙バックは
集団資源回収やリサイクルステーションへ！



レシート、写真、圧着はがき、宅配伝票、マスクなどは、どちらの回収にも出せません！
※可燃ごみとして出してください



名古屋リサイクル協同組合 連絡先／052-582-3990

24

古紙の定義

- ▶ 古紙とは、通常、製紙原料として回収されたものを指し、法令上は「資源の有効な利用の促進に関する法律」の通達（3生局第343号平成3年12月24日）「紙製造業に属する事業を行う者の古紙利用に関する判断の基準となるべき事項を定める省令等の運用について」では、次のように定義されている。
- ▶ 紙、紙製品、書籍等その全部又は一部が紙である物品であって、一度使用され、又は使用されずに収集されたもの又は廃棄されたもののうち、有用なものであって、紙の原材料として利用することができるもの（収集された後に輸入されたものも含む）又はその可能性があるもの。ただし、紙製造事業者の工場又は事業所（以下「工場等」という）における製紙工程で生じるもの及び紙製造事業者の工場等において加工等を行う場合（当該紙製造事業者が、製品を出荷する前に委託により、他の事業者に加工を行わせる場合を含む）に生じるのであって、商品として出荷されずに当該紙製造事業者により下記の原料として利用されているものは除く。

25

紙製容器包装と雑がみの課題

- ▶ （品質面の課題）紙製容器包装と雑がみを一括収集する事で分かりやすくなったが、紙マークは、すべて紙にリサイクルされるとの誤解もある。集団回収の雑がみに紙マークの禁忌品(複合品) が混入している場合がある。
- ▶ （サーキュラーエコノミー実現の課題）集団回収でも紙製容器包装の複合品も牛乳パックのように洗って乾かして古紙としてリサイクルできれば分かりやすい。
- ▶ （広報手段の課題）リサイクルに協力的な方でも雑がみのことは知らない。

26

事業系古紙の啓発事業

2026.2

判断に迷う古紙
について

字幕付き

愛知県古紙協同組合
古紙リサイクルアドバイザー
宮下 雄一郎

愛知県古紙協同組合



27

2019.07.23 愛知県内自治体との意見交換会開催 in王子マテリア祖父江工場

公益法人古紙再生促進センターと協働



28

紙リサイクルのSDG s



- ▶ つくる責任
古紙の利用促進
リサイクルが維持できる価格設定
- ▶ つかう責任
古紙利用商品の購入
分別排出に協力

29

小学校へ出前授業・施設見学会開催

公益法人古紙再生促進センターの広報宣伝事業に協力
(2026.7松栄小学校出前授業)



(2026.7施設見学会in石川マテリアル豊明営業所)



30

伝える手段として雑がみ様を探せ！のイベントを推進

環境デーなごや2025年9月出展（アンケート調査実施）



名古屋市内の雑がみ分類別のごみ・資源にしている割合の傾向↓

	ごみ割合（％）	資源割合（％）
A 紙箱	20	80
B プリント	26	74
C 紙の芯	29	71
D 包装紙など	19	81

名古屋市内の資源にしている場合の回収の種類の傾向↓

	市収集（％）	集団回収（％）	その他（％）
A 紙箱	68	28	4
B プリント	52	41	7
C 紙の芯	60	37	3
D 包装紙など	57	38	5

《紙箱》

- ・お菓しの箱
- ・ティッシュの箱
- ・おもちゃの箱 など

《プリント》

- ・学校からのプリント
- ・コピー用紙
- ・投げ込みチラシ

《紙の芯》

- ・トイレットペーパーの芯
- ・ラップの芯

《包装紙 など》

- ・使い終わったノート
- ・紙製のファイル
- ・包装紙 など…

紙製容器包装と雑がみの分別及び回収促進に資する啓発活動に関する協定

2026年3月に締結する

雑がみ様を探せ回収体験学習を実施



▶ 井戸田小学校

回収日は2026年9月10日（木）
対象学年は4年生のみ：約50人

▶ 川原小学校

回収日時は2026年10月6日（火）・7日（水）・8日（木）の3日間に分けて回収。
対象学年は全学年：約450人

紙製容器包装と雑がみの分別及び回収促進に 資する啓発活動に関する協定後の予定

- ▶ 名古屋市公式ウェブサイト「なごくる」に雑がみさま掲載
- ▶ 名古屋市環境イベントに合同参加
- ▶ 市民アピールについて施設見学に雑がみ様のチラシ配布、紙袋の配布
- ▶ 名古屋市消費生活フェア2026への10月17日出展
- ▶ 名古屋市環境科学センターオープンラボ2026への11月1日出展
- ▶ バスケットBリーグ「名古屋ドルフィンズスマイルデー」2027年3月
ブース出展（予定）

33

最後に！

- ▶ 「分別はSDG sの始まり」を意識のない人にPR
- ▶ サーキュラーエコノミーとはリサイクルコストが商品の
価格に入った状態
- ▶ サーキュラーエコノミーの実現とはリサイクルコストの
サーチャージを許容している社会
- ▶ 「混ぜればゴミ・分ければ資源」の日本の文化を守り
つつ「雑がみ様を探せ」の推進でゴミ減量資源化に貢献

ご清聴ありがとうございました。

34

センターからのお知らせ

昨年度から、全国で社会実験を展開！

全国で広がる「雑がみさま」を探せ！

— 行動変容を生み出す社会実験が始まっています —

約**70**の取組 延べ約**20,000**人が参加

学校・大学・自治体・企業・イベントなど全国で展開 子どもから大人まで、楽しく参加しています！










自治体との連携も広がっています。



札幌市



ニュースリリース

名古屋市



ニュースリリース

家庭には、まだ多くの「資源」が眠っています。

「雑がみさまを探せ！」は、大阪大学大学院経済学研究科・松村真宏教授のご協力をいただき、「仕掛学」の考え方を取り入れながら開発した啓発プログラムです。「分別してください」ではなく、「探してみよう」という発想で、市民の気づきと行動変容を促し、家庭に眠る資源をリサイクルへとつなげることを目指しています。

1

なぜ、いま「雑がみ」に着目するのか

小さな「気づき」が、資源循環を変えていく

「燃やすコスト」から「活かす価値」へ

食品ロス

約500万トン(年間推定)



社会的キーワード: SDGs もったいない

社会的認知
高い社会的関心。食品ロス問題は広く認識され、削減に向けた活動が活発。

廃プラスチック(焼却)

約600万トン(年間推定)



社会的キーワード: 廃プラスチック・海洋問題

社会的認知
高い社会的関心。海洋汚染や環境への影響が懸念され、対策が求められている。

紙ごみ(焼却・原紙)

約400万トン(年間推定)



社会的キーワード: 雑がみ・隠れた課題

社会的認知
低い社会的関心。リサイクル済みという先入観の障、雑がみへの認知度が低いままである。

解決への鍵: 「市民の行動変容」

新たな仕組みづくり
(食品・プラ対策)

回収に向けての新たな仕組みが必要だが...

市民の行動変容
(紙ごみ対策)

紙は既に回収システムが完成している

紙は「気づき」が、資源循環を完成させる最後のピース
既存の仕組みがある分、行動変容による改善余地が大きい

市民の分別行動が「脱炭素・ごみ減量」の直接的な解になる





焼却施設の負担軽減・更新抑制 脱炭素・ごみ減量

焼却施設の更新や人手不足に直面する都市にとって、最も即効性のある対策です。

2

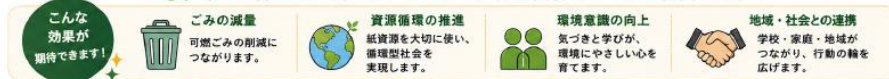
「雑がみさまを探せ！」の コンセプト

「分別してください」ではなく、「探してみよう」へ。

おうちの中にある「雑がみ」を見つけて、気づき、行動することで、未来の地球につながる小さな一歩になります。



楽しく探して、気づき、つなげる。行動変容につながる仕掛けです。



一人ひとりの「探してみよう」が、未来を変える力になります。

3

雑がみさまの4つのものがたり 気づいた今が、はじめどき



楽しく探して、気づき、つなげる。それが、私たちの未来を守る力になります。

※本冊子では、新聞・雑誌・段ボール・紙パック以外の紙類を、「雑がみ」と表現しています。

名称や対象品目、分別・排出方法は自治体によって異なりますので、お住まいの自治体のルールに従ってください。

4



5

雑がみさまを探せ！（雑がみ啓発 社会実験 2025年夏～）

各地約70取組、延べ2万人の啓発実験についての事例集を、今夏発行し、全国1700余自治体、関連業界に配布、啓発連携、啓発資材無料提供の呼びかけを開始。

雑がみさまを探せ！事例集

——行動変容と連携を進める資源化の実例——

全国で広がる
雑がみさまを探せ！

約70の取組 延べ約20,000人が参加

雑がみさまを探せ！啓発資材無料提供のご案内

無料で提供 貸出も対応

雑がみさまを探せ！事例集

雑がみさまを探せ！啓発資材無料提供中

6

SAGA × PAPER RECYCLING × COMMUNITY

佐賀における 地域循環共生社会づくり

— 紙リサイクルを入口とした地域共創への挑戦 —

株式会社イワフチ 代表取締役
全国製紙原料商工組合連合会 副理事長
九州製紙原料直納商工組合 理事長
公益財団法人古紙再生促進センター 理事
同 九州地区委員会副委員長

岩渕 慶太



SAGA / KOHOKU

佐賀県・江北町から、 資源循環の現場へ

株式会社イワフチ
本社：佐賀県杵臼郡江北町



01 LOCATION

佐賀県は、九州の北西に開かれた地域です

玄界灘と有明海に面し、福岡県と長崎県を結ぶ位置にあります。

北は玄界灘、南は有明海。
肥沃な佐賀平野が県央に広がります。

2,440.6 km² **781,214人** **10市10町**
県土面積 2025年国勢調査・速報 20の市町

朝鮮半島まで約200km。古くから大陸文化の窓口となり、
自然・農水産業・ものづくり文化が重なってきました。



出典：佐賀県「佐賀県の紹介」、令和7年国勢調査人口速報（2026年公表）

3

02 CHARACTER

自然の恵みと、受け継がれるものづくり

海・平野・山が近く、一次産業と伝統産業が地域の個性を形づくっています。



有明海の恵み

海苔をはじめ、米・麦、佐賀牛など多彩な食の産地



400年を超える技

有田焼・伊万里焼など、
世界へ広がった陶磁器文化

吉野ヶ里遺跡など、長い歴史の層も佐賀の魅力で
す。

写真：佐賀市公式／佐賀県観光連盟 出典：佐賀県、九州経済産業局

4

03 KOHOKU

江北町は、県央の小さな交通結節点です

佐賀平野の西部に位置し、鉄道と国道が東西・南北の流れをつなぎます。



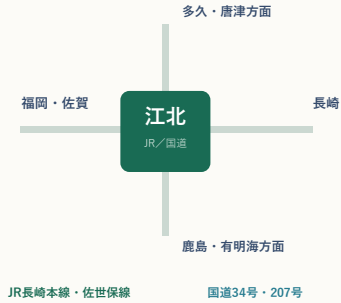
平野・集落・事業地が近接する、暮らしの町

24.88 km²

町の面積

9,482人

2026年6月末



出典：江北町「町のプロフィール」「ひとのうごき」、佐賀県市町振興協会

5



04 IWAFUCHI

江北町に本社を置き、地域の資源循環を支える

1927年創業

製紙原料の集荷・販売

総合リサイクル

地域で資源を受け止め、広域の再資源化へつなぐ。
この地域性が、イワフチの事業基盤です。

6



地域で集め、資源として次へつなぐ

地域で生まれる紙資源



選別・圧縮し、品質を整える

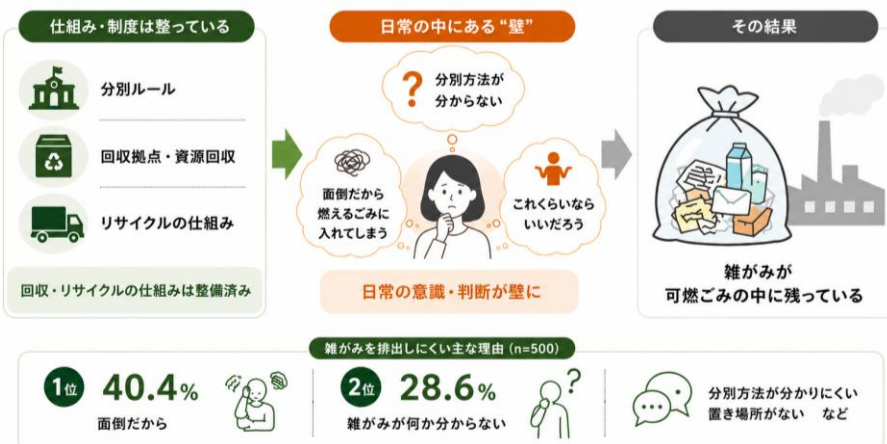


再び、紙の原料へ

ここから、紙リサイクルの
取組をご紹介します。

7

1. なぜ今、啓発なのか



仕組みはある。それでも、雑がみは可燃ごみへ。

8

消費生活センター
©2026 P.R.P.C. All Rights Reserved.

1. なぜ今、啓発なのか

「知っている」だけでは、行動につながらない

「自分ごと化」が、知識と行動をつなぐ橋になる



伝える啓発から、動き出す啓発へ

9

全国環境共生推進センター
©2026 P.R.P.C. All Rights Reserved.

1. なぜ今、啓発なのか



多様な人との関係が深まることで、地域の力は大きくなり、持続可能な循環が生まれます。

10

全国環境共生推進センター
©2026 P.R.P.C. All Rights Reserved.

2. なぜ佐賀で挑戦したのか

なぜ佐賀なのか？ | WHY SAGA

佐賀には、すでに「地域循環」をつくるための土台がある



新しくつくるのではなく、すでにあるものを「つなぐ」

11

佐賀県立大学
佐賀県立大学センター
©2026 P.R.P.C. All Rights Reserved.

2. なぜ佐賀で挑戦したのか

多様な力をつなぐ | CONNECTING SAGA

地域循環は、一つの主体だけでは動かせない

多様な主体が、それぞれの強みを持ち寄り、つながることで、未来を共に創っていきます



地域 みんなが資源循環をつくる主役です

12

佐賀県立大学
佐賀県立大学センター
©2026 P.R.P.C. All Rights Reserved.

3. 実施事例

01 行政 | 地域全体へ広げる



CASE | 事例概要

SAGAものスゴフェスタ12



場所 SAGAアリーナ



対象 家族連れを中心として約1,500名
(イベント来場者:2日間で約2万名)



取組内容
・体験型の分別ゲームを実施
・ゲームを通じて、家族で分別を体験
・会員企業、学生に協力いただき
協働で啓発を実施

WHY?

なぜ「行政」なのか



地域全体へ広げる「接点」を持つ

制度や施設、イベントなど市民と接する多様な場があるため、
幅広い世代に対して継続的にアプローチができます。



13

公益財団法人
古閑町まちづくりセンター
©2026 P.R.P.C. All Rights Reserved.

3. 実施事例

02 企業・商工会 | 事業活動から社会へ広げる



CASE | 事例概要

江北町役場での回収ボックス設置



場所 江北町役場



対象 江北町役場職員
役場を訪れる町民



取組内容
・約1ヶ月回収ボックス設置
・設置目的を見える化するため、説明
チラシを合わせて設置
・約600グラムの雑がみを回収

WHY?

なぜ「企業・商工会」なのか



事業活動から社会へ広げる「力」を持つ

企業や事業者は、従業員・顧客・取引先など多くの人とつながっています。
そのネットワークや発信力を活かすことで、地域の行動変容を促進できます。



14

公益財団法人
古閑町まちづくりセンター
©2026 P.R.P.C. All Rights Reserved.

3. 実施事例

03 学校 | 子どもから家庭へ広げる



CASE | 事例概要

小学生の工場見学

- 場所** 株式会社イワフチ
西日本広域リサイクルプラザ
- 対象** 鹿島市立浜小学校 3・4年生(46名)
江北町立江北小学校 4年生(93名)
太良町立太良小学校 4年生(35名)
- 取組内容** ・研修室での座学、会社紹介
・古紙工場、溶り工場の見学
・計量器の役割説明や重量当てクイズ

WHY? なぜ「学校」なのか



子どもから家庭へ「行動を広げる」

学校での学びは、子どもを通じて家庭に広がります。
未来を担う子どもたちが、紙のリサイクルを正しく理解し、家庭での実践につなげます。

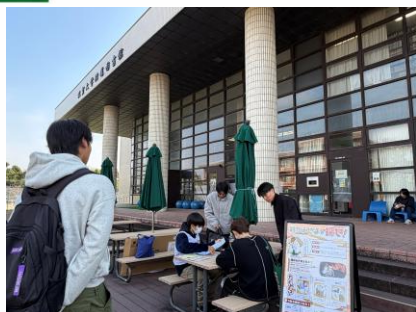


15

佐賀県立
古賀市立環境センター
©2026 P.R.P.C. All Rights Reserved.

3. 実施事例

04 大学 | 研究・教育活動から社会へ広げる



CASE | 事例概要

佐賀大学での啓発

- 場所** 佐賀大学本庄キャンパス
- 対象** 学生約300名
(各日約100名がブース訪問)
- 取組内容** ・図書館前(屋外)にブース設置
・雑がみや分別のポイントを説明
・啓発袋を配付し、分別のきっかけに

WHY? なぜ「大学」なのか



若者の力を「地域課題」につなげる

大学生は、柔軟な発想や行動力を持つ、地域の新たな担い手です。
資源循環に関わる機会をつくり、若者ならではの視点や行動を地域の力につなげます。



16

佐賀県立
古賀市立環境センター
©2026 P.R.P.C. All Rights Reserved.

3. 実施事例

05 スポーツ団体 | スポーツから地域へ広げる



CASE | 事例概要

佐賀大学硬式野球部

- 場所** 佐賀大学
- 対象** 佐賀大学硬式野球部員
- 取組内容**
 - ・硬式野球部の部員に啓発
 - ・啓発袋を配付し、分別のきっかけに
 - ・スポーツを入口とした新たな接点

なぜ「スポーツ団体」なのか

WHY?



楽しさを入口に「参加の輪」を広げる

スポーツは、誰もが楽しみながら自然に参加できる力を持っています。
スポーツを通じたつながりや体験をきっかけに、資源循環への参加の輪を地域に広げます。



17

佐賀県立
古賀市立環境センター
©2026 P.R.P.C. All Rights Reserved.

3. 実施事例

06 福祉・高齢者団体 | 日常のつながりから地域へ広げる



CASE | 事例概要

福祉事業施設での選別・回収

- 場所** 社会福祉法人天童会 いぶき村
社会福祉法人天童会 ハーモニー
- 対象** 福祉事業施設入所者
- 取組内容**
 - ・新袋の選別及び各品目の納品
 - ・生産活動会の一環として実施
 - ・紙リサイクル活動の一環として10年以上当該作業を実施

なぜ「福祉・高齢者団体」なのか

WHY?



日常のつながりを「地域の力」に変える

福祉・高齢者団体は、地域の人々と日常的につながり、信頼関係を築いています。
その身近な関わりから、行動変容を広げていきます。



18

佐賀県立
古賀市立環境センター
©2026 P.R.P.C. All Rights Reserved.

3. 実施事例

07 非営利・市民団体 | 市民活動から地域へ広げる



CASE | 事例概要

こどもエコクラブとの連携

場所	佐賀県内のこどもエコクラブ	
対象	申込クラブ	4クラブ
	申込メンバー数	952名
	サポーター数	299名
取組内容	・家庭で雑がみを探す参加型プログラム ・啓発袋を活用し、分別を実践 ・子どもだけでなく、家族や周りの人と一緒に取り組む活動	

WHY?

なぜ「非営利・市民団体」なのか



地域に根ざした「つながり」を活かす

非営利・市民団体は、地域に根ざしたつながりや信頼関係を築いています。そのネットワークを活かし、地域全体の行動につなげていきます。



佐賀県環境
生活支援センター
©2026 P.R.P.C. All Rights Reserved.

19

3. 実施事例

08 需給両業界 | 業界連携から社会へ広げる



CASE | 事例概要

九州地区委員会での活動

場所	福岡県北九州市 イベント名：北九州エコライフステージ	
対象	家族連れを中心として 2日間で約500名	
取組内容	・体験型の分別ゲームを実施 ・ゲームを通じて、家族で分別を体験 ・需給両業界で構成される委員会活動として啓発を実施	

WHY?

なぜ「需給両業界」なのか



回収から利用まで「資源循環をつなぐ」

製品の回収側と資源の利用側が力を合わせることで、回収から利用までをつなぎ、持続可能な資源循環の実現を目指していきます。



佐賀県環境
生活支援センター
©2026 P.R.P.C. All Rights Reserved.

20

4. 雑がみさまを探せ！

さが 雑がみさまを探せ!

身の回りに隠れた“雑がみ”を、みんなで救出!

雑がみさま

① 探す ② 分ける ③ 救出!

「捨てる紙」から「資源として救出する紙」へ

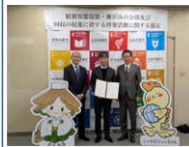
大阪大学大学院経済学研究科・松村真宏教授(仕掛学)と連携した施策

21

全国環境
古紙再生推進センター
©2026 P.R.P.C. All Rights Reserved.

4. 雑がみさまを探せ！

令和7年度実績 全国70か所・2万人以上に啓発を実施

環境フェア・イベント	学校	自治体	大学
 環境イベントでの啓発	 学校での雑がみ分別体験	 名古屋市との協定締結	 跡見学園女子大学と連携
 体験型企画を通じた啓発	 雑がみ回収結果報告会	 札幌市との覚書締結	 佐賀大学構内での啓発

多様な主体と連携し、全国で資源循環の輪を広げています。

22

全国環境
古紙再生推進センター
©2026 P.R.P.C. All Rights Reserved.

5. 地域循環共生社会の実現に向けて

新しい施設でも、大きな予算でもありません



地域にある「資源」をつなぐことです

すでに地域にある人・場所・活動を、地域の力へ

23

全国環境共生推進センター
©2026 P.R.P.C. All Rights Reserved.

5. 地域循環共生社会の実現に向けて



多様な分野と連携し、地域の未来をつくります

24

全国環境共生推進センター
©2026 P.R.P.C. All Rights Reserved.

全国各地で地域に根ざした実践を

2026-2028 | 啓発本格展開 3か年

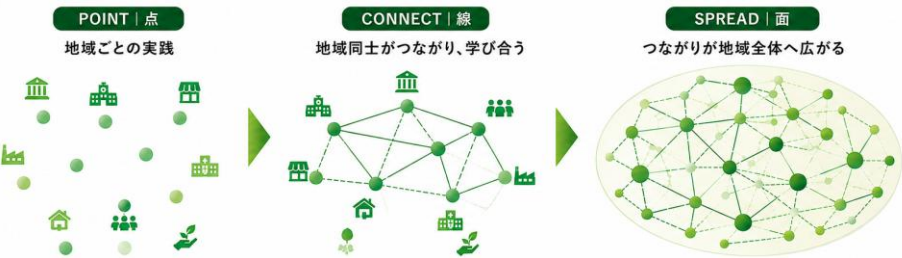
佐賀でも
地域らしい実践を

地域ごとの実践を、全国へ広げていく

佐賀県立
古賀県立生涯学習センター
©2026 P.R.P.C. All Rights Reserved.

地域循環共生社会づくりへ

点から線へ、線から面へ



それぞれの地域にある「強み」と「資源」をつなぐ

そこから、地域循環共生社会づくりは始まります

佐賀県立
古賀県立生涯学習センター
©2026 P.R.P.C. All Rights Reserved.

地域循環共生社会づくりへ

それぞれの 地域から

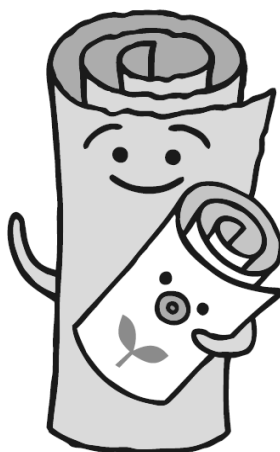
地域にある強みや資源を、
つなぐことから始める

点から線へ、線から面へ

27

— Memo —

紙リサイクル促進大使
「カミリイ」ちゃんと「カミリイママ」



公益財団法人古紙再生促進センター